

4月の新着本

4月9日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

| | | |
|------------------------------------|----------|---|
| 月曜日の抹茶カフェ 【読者希望】 | 青山 美智子 | 人は知らず知らずのうちに、誰かの背中を押していることに気づく、一杯の抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ12カ月の心癒やされるストーリー。 『木曜日にはココアを』のおなじみのメンバーも登場するシリーズ続編です。 |
| 白光 | 朝井 まかて | 絵を学びたい一心で明治の世にロシアへ。芸術と信仰の狭間でもがき、辿り着いた境地—— 日本初のアイコン画家、山下りん。激動の生涯を力強く描いた渾身の大作 |
| 六人の嘘つきな大学生 | 浅倉 秋成 | 成長著しいIT企業「スピラリンクス」の最終選考。最終に残った六人が内定に相応しい者を議論する中、六通の封筒が発見される。そこには六人それぞれの「罪」が告発されていた。犯人は誰か、究極の心理戦スタート。 |
| 夜叉の都 | 伊東 潤 | 源頼朝の死後、北条政子との間の息子・頼家が将軍職を継いだ。だが頼家は酒色に興じ、その期に乗り、政子の弟・北条義時は頼家の側近の梶原氏の失脚を画策する。だがそれは、不穏な時代の幕開けに過ぎなかった。義時とともに、“夜叉のごとき”苛烈さで多くの政敵を滅ぼし、幕府を守り抜いた政子を描く歴史巨編。 |
| 幻月と探偵 | 伊吹 亜門 | 異邦の論理、異形の心理。大戦前夜の満洲、元陸軍中将の屋敷、連続毒殺事件、「三つの太陽」、岸信介の野望。デビュー作『刀と傘』で、「ミステリが読みたい!2020年版」第1位&本格ミステリ大賞受賞! ホワイダニットの名手が贈る、昭和史×本格ミステリ! |
| 塞王の楯 【第166回直木賞受賞作】 | 今村 翔吾 | どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。 「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説! 第166回直木賞受賞作 |
| 執権義時に消された13人 【今月のスタッフおすすめ本】 | 榎本 秋 | 将軍にかわる「執権」として権力を手中に収めたのが、13人中もっとも若かった北条義時である。2代執権・義時が勝ち続けた理由はなにか? なぜライバルは義時に歯が立たなかったのか? 敗者として歴史の間に消された13人の歴史人物に焦点をあて、執権義時の黒すぎる生涯を見ていく。 |
| ポップス歌手の耐えられない軽さ | 桑田 佳祐 | サザンオールスターズのリーダーにして日本の音楽シーンの先頭を走り続ける桑田佳祐が、「頭もアソコも元気なうちに、言いたいことを言っておきたい!」という想いを出発点に、「週刊文春」で2020年1月から2021年4月にかけて連載した全66篇 “魂、のエッセイ!!” |
| 霧をはらう | 栗井 脩介 | 病院で起きた点滴死傷事件。入院中の4人の幼い子どもたちにインスリンが混入され、2人が殺された。逮捕されたのは、生き残った女兒の母親。人権派の大物弁護士らと共に、若手弁護士の伊豆原は勝算のない裁判に挑む! 栗井脩介が問う、弁護士の信念とは? 作家デビュー20周年を迎えた著者の渾身作! |
| ブラックボックス 【第166回芥川賞受賞作】 | 砂川 文次 | 自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自衛隊を辞め、いまは自転車便メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。気鋭の作家、新境地の傑作中篇。第166回芥川賞受賞作! |
| 7.5グラムの奇跡 | 砥上 裕將 | 人の良い院長に拾われた恭一は、凄腕の視能訓練士・広瀬真織、マッチョな男性看護師・剛田剣、カメラが趣味の女性看護師・丘本真衣らと、視機能を守るために働きはじめる。精緻な機能を持つ「目」を巡る、心温まる連作短編集。 |
| やさしい猫 【読者希望】 | 中島 京子 | シングルマザーの保育士ミュキさんが心ひかれたのは、八歳年下の自動車整備士クマさん。 出会って、好きになって、この人とずっと一緒にいたいと願う。当たり前の幸せが奪われたのは、彼がスリランカ出身の外国人だったから。大きな事件に見舞われた小さな家族を、暖かく見守るように描く長編小説。 |
| 他者の靴を履く | ブレイディみかこ | 「わたしがわたし自身を生きる」ために—— エンパシー(=意見の異なる相手を理解する知的能力)×アナキズムが融合した新しい思想的地平がここに。“負債道徳”、ジェンダーロール、自助の精神……現代社会の様々な思い込みを解き放つ。〈多様性の時代〉のカオスを生き抜くための本。 |

| | | |
|--|--------|---|
| N | 道尾 秀介 | 「魔法の鼻を持つ犬」とともに教え子の秘密を探る理科教師。「死んでくれない？」鳥がしゃべった言葉の謎を解く高校生。定年を迎えた英語教師だけが知る、少女を殺害した真犯人。殺した恋人の遺体を消し去ってくれた、正体不明の侵入者。全六章。読む順番で、世界が変わる。あなた自身がつくる720通りの物語。 |
| あなたにオススメの | 本谷 有希子 | 子供達を<等質>に教育する人気保育園に娘を通わせる推子は、身体に超小型電子機器をいくつも埋め込み、複数のコンテンツを同時に貪ることに至福を感じている。そんな価値観を拒絶し、オフライン志向にこだわるママ友・GJが子育てに悩む姿は、推子にとっては最高のエンターテインメントでもあった。 |
| 余命一年、男をかう 【読者希望】 | 吉川 トリコ | 片倉唯、40歳。進行した子宮がんを宣告される。医師は早めに手術を進めるも、唯はどこかほっとしていた。「これでやっと死ねる」。好きなことをやってやるんだ！と。会計まちをしていた唯の目の前にピンク頭のどこからどうみてもホストである男が現れ、突然話しかけてきた。この日から唯とこのピンク頭との奇妙な関係が始まる。 |
| ブルーピリオド (1)～(5) 【特別配架図書】 【読者希望】 | 山口 つばさ | 成績優秀かつスクールカースト上位の充実した毎日を送りつつ、どこか空虚な焦燥感を感じて生きる高校生・矢口八虎(やぐち やとら)は、ある日、一枚の絵に心奪われる。その衝撃は八虎を駆り立て、美しくも厳しい美術の世界へ身を投じていく。絵を描かない人にも刺さる熱くて泣ける美大受験物語！マンガ大賞2020受賞。 |
| ごみと呼ばれて 【特別配架図書】 | 中林 和男 | 覚醒剤に溺れ、17歳から45歳まで入出所を繰り返してきた男。彼は今、見事に更生し、公園で遊ぶ子供たちにお菓子を配るのを楽しみに暮らしている。薬をやめられず罪を重ねる人間の弱さと、世の中のために生きようと誓うまでの心の軌跡を綴った、激しくも哀しい男の告白。 |
| ミンジャの韓国雑感 【特別配架図書】 | 古田 敏子 | 筆者は金沢区柴町在住。韓国のネットメディアで連載していた人気エッセーコーナーから厳選コラムを書籍化。夫の仕事の都合で韓国の地方都市・大田(テジョン)を訪れたミンジャ(敏子の韓国読み)と、その子供2人の目から見た韓国人の性格や習慣、芸能情報、日韓比較などを1話完結形式でつづる。 |

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、6月新着本は6月11日(土)から貸出いたします。

